

目的：創造的にデータを活用して、よりよい未来を構想し、その実現のために科学的に探究し、その結果に基づいて行動する力をつける。

		1	2	3	4	5	
		評価規準	標準を大きく下回る	標準に達していない	標準に達している	標準を超えている	特筆すべき成果を上げている
構想力 課題を知りよりよい未来を構想する力	Problem 課題設定力	よりよい未来の理想像と現実とのギャップや、身近な「なぜだろう」という疑問を出発点として問題を全体的、具体的に理解し、それを解明するのに適切で的確な絞られた研究課題（リサーチクエスション）を定めることができる。	理想、あるいは現実だけに着目しており、身近な疑問から問いを広げたり深めたりすることができなかったりして、問題を理解していない。	理想と現実のギャップを理解したり、身近な疑問から問いを広げることができるが、的が絞られておらず、具体的で検証可能な研究課題を設定することができていない。	社会的な問題や科学技術に関する問題を理解して、意義を自分なりに考え、その問題に対応した具体的で検証可能な研究課題を定めることができている。	社会的な問題や科学技術に関する問題を全体的かつ具体的に十分に理解し、問題の解明につながる、適切で的確な絞られた研究課題を定めることができている。	社会的な問題や科学技術に関する問題を十分理解し、意義のある新しい価値を生み出すような、創造的で独自性のある研究課題の設定をすることができる。
	Plan 探究計画力	先行研究を調査し、仮説を立て、データ活用の見通しを持って、広い視野で深い調査・分析を行うための計画を立てることができる。	先行研究の調査が不十分であり、仮説を立てることができていない。	先行研究を調査して仮説は立てているが、曖昧な内容であり、実効性のある研究計画が立てられていない。	過去の研究成果を調査したうえで、先行研究を参照しながら適切な仮説を立て、データ活用の見通しがある計画を立てることができている。	過去の研究成果を理解したうえで、適切な仮説を立てて、広い視野で深い調査・分析が行えるような実効性のある計画を立てている。	過去の研究成果を十分理解したうえで、創造的で独自性のあるデータ収集・可視化・分析手法の計画を立てている。
分析力 データサイエンスのスキルを用いて設定した課題に協働して取り組む力	Data データ収集力	取得方法、正確性、信頼性を意識して研究テーマの解明に必要なデータの収集を行い、整理、整形、加工を行うことができる。	データの取得方法、正確性、信頼性が不十分であり、適切なデータ収集ができていない。	データ収集はできているが、出典（資料名、書名、年月日）が明確でなく、取得方法、正確性、信頼性に改善の余地がある。	取得方法、正確性、信頼性に注意してデータ収集ができており、基本的な整理、整形、加工ができている。	取得方法、正確性、信頼性におおむね満足いくデータ収集ができており、丁寧な整理、整形、加工ができている。	取得方法、正確性、信頼性に満足のいくデータ収集ができており、丁寧な整理、整形、そして創造的で独自性のあるデータの加工ができている。
	Analysis データ分析力	データを適切な手法で分析し、課題解決につながるように可視化することができる。	既存のグラフや表をそのまま使用しているが、自身のデータを取得して分析や可視化を行うことができていない。	取得したデータの分析や可視化を行うことはできているが、その正確性や妥当性は不十分で改善の余地がある。	取得したデータの特性を理解し、データの分析や可視化をおおむね適切に行うことができている。	取得したデータの特性を理解し、データの分析や可視化を効果的に行うことができている。	取得したデータ正確に理解したうえで、創造的で独自性のあるデータ分析や可視化を効果的に行うことができている。
	Conclusion 結論力	分析結果を考察し、仮説を検証して結論を導き、問題の解決策を提案することができる。	分析結果を考察し、仮説を検証するために努力を行っている。	分析結果を考察し、仮説の検証を行う考え方は身につけてきている。	適切に分析結果を考察し、仮説の検証を行っており、妥当性のある結論を導き出している。	社会的・科学技術的な課題に基づいて、分析結果を考察し、仮説の検証を行っており、課題解決に向けた有効な結論を導き出している。	社会的、科学技術的な課題に基づいて、広い視野で分析結果を考察し、具体的な仮説の検証を行っており、課題解決に向けた創造的で独自性のある解決策を提示している。
行動力 構想した未来の実現に向けて行動する力	Action 行動力	結論に関連し、課題解決につながる実行可能な行動計画を立て、創意工夫して実行することができる。	課題解決に向けて実行可能な行動計画が立てられておらず、課題解決につながっていない。	課題解決に向けて実行可能な行動計画は立てられるが、実行可能性が低く、実際に実行することができていない。	課題解決に向けて実行可能な行動計画を立てることができており、おおむね実行できている。	結論と密接に関係し、課題解決に向けて実行可能な行動計画を立て、計画したことをすべて実行している。	創造性、独自性、実効性を兼ね備えた行動計画を立てることができており、創意工夫して実行している。
表現力 探究の内容を効果的に伝える力	Visual 視覚資料作成力	必要な情報が過不足なく盛り込まれており、視覚的にも「読ませる」よりも「見せる」資料を作ることができる。	出典が書かれていないなど、必要な情報が盛り込まれていない。文字が中心で、図や表を効果的に使った視覚的な工夫がない「読ませる」資料である。	出典は書かれているが、必要な情報が不足しているところがある。視覚的な工夫を一部取り入れているが、内容が十分整理されていない。	必要な情報がおおむね過不足なく盛り込まれている。図や表を使って視覚的にも「見せる」資料にする工夫がある。	必要な情報が過不足なく盛り込まれており、図や表を有効に使うことで視覚的に訴える資料が作られている。	必要な内容が過不足なく盛り込まれており、図や表を有効に使うことで研究内容の全体が十分に理解でき、聞き手に伝わりやすい工夫がなされた構成である。
	Oral 口頭発表力	聞き手に理解してもらえるような、発声、視線、表情、体の姿勢である。	聞き手に理解してもらおうという意識が感じられず、原稿や画面を見ながら読み上げている。	聞き手に理解してもらおうという意識は感じられるが、発声、視線、表情、体の姿勢の幾つかが不十分である。	聞き手に理解してもらえるように、発声、視線、表情、体の姿勢のすべてを意識している。	聞き手に十分理解してもらえるように、発声、視線、表情、体の姿勢を意識しており、さらに工夫している。	聞き手に十分理解してもらえるように発声、視線、表情、身体の姿勢を意識していることに加え、聞き手の反応を踏まえて、ライブ感・臨場感があり、効果的に伝わる工夫のある発表である。